

学位論文審査

2次審査用書類

作成見本

(乙)

<注意事項>

見本のとおりに作成し、原稿2部とデータ（Wordファイル）を医学部大学院係まで提出願います。

論文の内容の要旨

明朝 14P

明朝 9P

6 cm位

明朝 14P

12 cm位

論文提出者氏名	松本太郎 1 cm位
論文審査担当者	主査 長野一郎 2スペース取る 副査 豊科次郎・大町三郎・上田四郎 2 cm位
論文題目	明朝 9P 欧文題目 (..... 日本語訳) 3 cm位
(論文の内容の要旨) [背景と目的] 明朝 9P 行間一行 欧文 Times 11P 訳文 (和文) 明朝 11P ※2,000字程度 ※外国人留学生に限り英文で作成も可 18 cm位	

論文審査の結果の要旨

明朝 9P

明朝 14P

6 cm位

明朝 9P

4 cm位

明朝 9P

2 cm位

6 cm位

報告番号	乙 第 号	氏 名	松 本 太 郎 ^{1 cm位}
論文審査担当者	主 査 長 野 一 郎 副 査 豊 科 次 郎・大 町 三 郎 上 田 四 郎 ^{2 cm位}		

明朝 9P

明朝 9P

1 スペース取る

(論文審査の結果の要旨)

発癌に対する研究は.....
.....

明朝 9P
行間 1 行

※1, 000字程度

※外国人留学生に限り英文で作成も可

21 cm位

学力確認の結果の要旨

報告番号 6 cm位	乙 第 号 4 cm位	氏 名 2 cm位	松 本 太 郎 1 cm位
学力の確認担当者	主 査 長 野 一 郎 副 査 豊 科 次 郎・大 町 三 郎	上 田 四 郎	2 cm位
<p>(学力確認の結果の要旨)</p> <p>最初に主査は、「氏 名」に本研究の概略を述べさせた。次いで、主査・両副査と「氏 名」との間に次のような質疑応答が行われた。</p> <p>問： 答：</p> <p>※ <u>質疑応答部分は、外国人留学生に限り英文で作成も可</u></p> <p>21 cm位</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 1次審査書類「学位申請書」で選択した外国語を記入する。その他は削除する。 </div> <p>以上のように質問に対する応答は概ね適切であり、本研究の遂行に十分な学力を有しているものと認められた。</p> <p>語学試験は、英語については、〇〇年度第〇回信州大学大学院総合医理工学研究科統一外国語試験（大学院入試合格者の場合：〇〇年度信州大学大学院医学系研究科又は総合医理工学研究科博士課程入学試験）に合格しており、独語、仏語又は日本語については、口頭試問により「氏 名」が大学院修了者と同等の学力を有するものと認められた。</p>			

明朝 9P

明朝 14P

明朝 9P

明朝 9P

1 cm位

明朝 14P

明朝 9P

明朝 9P

1スペース取る

明朝 9P
行間 1行

申請者の氏名

21 cm位

1次審査書類「学位申請書」で選択した外国語を記入する。その他は削除する。